



規模拡大を後押し

繁忙期には10人のパートさんを雇い、周年でホウレンソウを栽培しています。2013年に農業を始め、徐々に面積を拡大してきました。最近はどこで大きな災害が起こるか分からないし、今後さらに規模拡大するには補償が必要だと考えていました。

そうした時、収入保険のことを知り、昨年、収入保険への加入を決めました。加入したことで、ハウスを増やし、露地での栽培にも挑戦することができました。自動コンベアの導入で作業効率アップを図り、一日の収穫量150^{キロ}、冬場は200^{キロ}を目標にしています。

夏場の栽培は難しいですが、農業の仲間たちと情報交換しながら、品質の向上に努めています。収入保険に加入しているということで安心して農業ができるので、これからも地元のためにできることをやっていきたいです。

▷ホウレンソウ145^{アール}（ハウス32棟=70^{アール}、露地75^{アール}）

北広島町 多川 純利さん（34歳）

（広報紙「NOSAI広島」2020年 第26号より）